

カナダ サクランボは堅調な輸出が見込まれる

FreshPlaza 2023年6月5日

ブリティッシュコロンビア州では開花中の天候が暖かかった。ジェラスフルーツ社のジュリー・マクララン氏は、「ある朝花が咲き始め、翌日には100%開花した」と言う。(以下「」は同氏の発言)

いわゆる一斉開花(flash bloom)は非常にまれであり、その影響は甚大である。通常は花の約10~15%が毎日咲き始め、その割合は日々増加して、約5~7日後に果樹園全体が開花する。「今年は、暑さのためにすべてが一斉に開花し、開花期間が短くなった。その結果、ミツバチが受粉を媒介するのに十分な時間がなかった。」

「今年は果樹が過剰に着果していないことが明らかで、着果状態は控えめである。」ただし、これはまた、通常よりもサクランボのサイズが大きく、糖度が高いと予想されることも意味する。同社の果樹園では若干の落果が見られた。それにもかかわらず、新しい園地が成園化するため、同社全体の出荷量は、2022年に比べて30~35%増加すると予想される。「今年は新たな出荷が始まるという幸運に恵まれた。」

最新の状況

現段階では、サクランボが樹上で形成されている。これは、すべてのエネルギーが種子の形成に使われる重要な段階である。現在の予測によると、同社の早生の園地では、7月5日~7日に少量の収穫が開始される見込みである。その後、収穫は7月20日頃に本格化し、8月末または9月上旬まで続く。

労働力

サクランボを収穫するのに十分な労働力があるかどうかについて、マクララン氏は今年は外国人労働者の数が増えたと述べた。「弊社の労働者の大部分はグアテマラとメキシコから来ており、今年は割り当て人数が多かったので、十分な人員を確保している。弊社の労働者は、カナダ政府が財政的に支援する事業の下で確保しており、毎シーズンこれらの貴重な労働者をカナダに連れてくることができる。」さらに、カナダのバックパッカーが再びサクランボの収穫に興味を持つのは、コロナ禍以来今年が初めてある。「過去数年間に比べて、カナダ人の収穫作業員はかなり増えるだろう。」

輸出

ブリティッシュコロンビア州(BC)産サクランボの今年の需要は強いと予想される。米国ワシントン州の出荷量は7月下旬に先細りになってくるので、BC産果実へ順調に移行するはずである。米国の旺盛な需要に加え、輸出も堅調に推移するとみられる。興味深い進展は、カナダの生産者が、燻蒸の代わりに、承認されたシステムアプローチの下で韓国市場に完全にアクセスできることで、これにより着荷時の鮮度が高まる。

「2022年は韓国との試行の年であり、2023年シーズンは登録されたすべてのカナダの出荷業者に開かれている。」韓国の秋夕(チュソク)と中国の中秋節の両方が9月29日の週末に祝われるので、同氏は両国への力強いサクランボの出荷を期待している。「8月の後半2週間に収穫されるサクランボに最適な出荷時期である。」このほかの輸出先としては、台湾、ベトナム、タイ、中東諸国等がある。

レジーナ品種とスタッカート品種はどちらも海外市場で非常に人気がある。「弊社はカナダで最大のレジーナ品種の出荷業者である。これは弊社の代表的な品種で、7月下旬から8月上旬まで出荷する。スタッカートは弊社の取り扱いが最も多い品種で、8月を通して出荷できる。両方の品種に対する海外からの高い需要が見込まれる。」

執筆者: マリーケ・ヘムズ